

許し

私達ヨーロッパ人にとって、日本の「武士道」は珍しく思われます。その中でも特に「仇討ち」が一つの美德とされていることは大変不思議なことです。殺された父の仇討ちをする子供は、勇気と親への愛を示すという解釈は美德といえるのだろうか。

はっきり当時の歴史の法律はわかりませんが、仇討ちをした人を裁いたり、死刑にしたりすることはなかったように聞いています。

東洋と西洋の大きな違いがここにもあります。西洋では神に向かって「私達が人の罪を許すように私の罪も許してください」と祈ります。つまり他人の罪を許す、自分に対して侮辱した人を許すことが、西洋では美德になるわけです。

でも本当に人を許せるのか、あなたの子供を殺した人を心から許せるのかと問われると、私も答えるのに苦労すると思います。

神は愛そのものであり、慈悲そのものですから、人間の罪を許していただきますが、人間は心が小さくて人を許すことができないのではないかと思うこともあります。私自身は心から人を許さなければならないという機会がなかったので、自分が本当に人を許せるかどうかわかりません。

あるスペインの神父さまで、上智大学の教授でしたが、彼の子供の頃お父さんがスペインの内乱で殺されたことを話してくれました。一九三〇年代スペインは右翼と左翼の間で内乱が起き、彼のお父さんはある夜、反対側の人達に妻と子供の前で殺害されました。戦争中に起こったことなので、裁判等は一切なかったそうです。

彼は父を殺した人達の顔をはっきり見てしまったので、決して忘れることができなかったそうです。しかしお母さんは、子供の心の中に憎しみを育てるよりも、許しを育てるために、お父さんを殺した人のためにも祈りましょう、と毎晩の祈りの中に必ず加えていたそうです。子供達は復しゅうするよりも、お父さんを殺した人のために祈るよう育てられました。

”昔の人は歯には歯を、目には目を、と教えてきたが、私は云う、あなたがたの敵のために祈りなさい。それで、あなたがたは神の子となる”とイエスはおっしゃった。

人間として許すことができないから神の子として許すことができると云われました。



2月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	美唄
5	日	年間第5主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P4平和を願う	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:室井 第2:西川薫 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:野呂	11:00
12	日	年間第6主日 司祭と召出を求めのために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:本田 第2:古野 答唱詩編:安藤/多田 オルガン:野呂	11:00
19	日	年間第7主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:岡本 第2:間野 答唱詩編:高塚/古野 オルガン:斎藤	11:00
22	水	灰の水曜日 大斎・小斎	18:00 ミサ 先読み:高塚 第1:安藤 第2:多田 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:野呂	
26	日	四旬節第1主日 教会から離れた信者のために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:野呂 第1:三上朋 第2:本田 答唱詩編:古野/間野 オルガン:斎藤	11:00

◆平日のミサ ○砂川教会:月曜日～金曜日 17:00、土曜日 10:00 ○美唄教会:金曜日10:30

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

○砂川教会

今月なし

○美唄教会

6日 聖パウロ三木

笠松正行

◆砂川教会 お知らせ

- ・灰の儀式に使用するため各家庭に保存している しゅろの葉を 19 日までに持ってきてください。
- ・ロザリオ会は冬季(11~3月)夜間の交通安全を考慮してお休みします
- ・毎週水曜日 10:00~ 聖書に親しむ会を実施しています

砂川 花当番	
4日(土)	安藤
11日(土)	室井
18日(土)	多比良

◆大齋と小齋

大齋とは、1日1回だけ十分な食事をとること、その他朝ともう1回「わずかな食事をする」ことができ満60歳までの全ての成年者が守ります。

小齋とは、肉を食べないことです。

カトリック信者になって

久保 榮紀

私は、1972年4月16日に砂川カトリック教会でヒラリオ神父様に結婚式を挙げて頂いてから早いもので50年の月日がたちました。夫婦とも大病せず今日まで来ましたが、妻には家事・家計・子供の面倒などすべて任せ大変な苦勞をさせていました。また結婚時の約束であったカトリックの信者になる事もそのままでした。昨年砂川にカトリックの共同墓が出来たので妻から「申し込みたいが、どうしますか」と言われました。私の両親がああ世へ旅立ち三男が仏壇納骨堂を引き継いでいるので約束通り私も共同墓に妻と一緒に申込む決意をしました。

カトリック信者になるため、ナルチゾ神父様にお願いし、9月17日より毎週土曜日ミサにあずかり、引き続きカトリックの教え、回心、生活の改善、信仰と愛の心、聖書の大切などを学ばせて頂いております。



12月24日には洗礼を授けて頂きました。

新米の私には難しい所ばかりですが、神を信じて理解できるよう頑張る覚悟です。12月31日には結婚50周年記念のミサを挙げて頂き、昨年は私に大きな変化を起こした年となりました。

今年は毎日朝の祈りから始まり、夫婦の会話も増し、生活改善を進める心がけで日々過ごしていくことにしました。

先輩の皆さんご指導お願いいたします。